

元田拓海さん（花き1年）、意見発表で最優秀賞を受賞！
 ～九州地区農業大学校プロジェクト・意見発表会（令和3年1月13・14日）～



本来ならば沖縄県にて開催される予定だった本年度の標記大会は、ZOOMによるリモート発表での開催となりました。九州地区8県の農業大学校から、意見発表に8名、プロジェクト発表に養成部門16名、研究部門2名が代表として発表を行いました。本校からは、意見発表で花き1年元田拓海さん、プロジェクト発表で野菜2年中神仁志さん、酪農2年宮崎由紀さん、研究科の市原朱沙さんの4名が素晴らしい発表をしました。

審査の結果、元田拓海さんは意見発表において最優秀賞を見事受賞し、2月に開催されます全国大会の九州ブロック代表に選出されました。

マルクト
野菜部「Markt」
くまもと県版GAPで28品目を認証

「くまもと県版GAP（ギャップ）」は、県内農業者の食品安全、環境保全、労働安全に配慮した農業の実践につなげることを目的に創設されました。

今回、農業大学校では野菜部「Markt」の18名と教職員が一丸となり野菜の安全安心な農産物生産に取り組み、認証を取得しました。品目数は本県では過去にない28品目となりました。この成果に学生は大いに喜びと同時に、将来の農業経営に生かす意欲で卒業を迎えることとなりました。



卒業に寄せて

熊本県立農業大学校長 中村 秀朗



42期生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

2020年は、新型コロナウイルス感染防止のため、色んな事が制限された一年でした。学生の皆さんは、私たち以上に辛い日々を過ごされたと思います。コロナ禍の中、人と人の距離が遠く、辛抱することが多かったですが、よく頑張ってくれました。

思い返せば、この2年間、なんと早かったことかと感慨深いことでしょう。

農大で学んできた皆さん一人ひとりの心のどこかに、校訓「自覚、自彊、自啓、自治、自尊」を記憶し、卒業しても決して忘れないでください。

これから皆さんは、社会人となり直面するであろう、様々な困難や壁の前に、失敗を恐れず、自分の可能性を信じて、あきらめずに前向きに進み続けてください。

皆さんが、今日、農大を巣立ち、社会に飛び込み、それぞれの分野で、人々の役に立つ人材となって活躍していただくことを期待しています。

そして、ここまで育てていただいた親への感謝を忘れないでください。少しずつ親孝行をしてください。

最後に、皆さんが幸せで充実した人生を送られることを心より願い、私の贈る言葉といたします。がんばってください。